

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表 公表日 令和 7年 11月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			十分な広さは確保できている。活動内容によってスペース不足が懸念される場合は、公共施設を借りて対応している。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	3		適切な職員数の配置、専門的な知識を有した職員を配置して対応しているが、送迎時に職員数の不足を感じる場合がある。 ・人数不足を感じる時がある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	スロープ等の設置は行っていない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			日々の振り返りや定期的なミーティングを開催することで、改善すべき点を明確にしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			定期的な保護者アンケートを実施。保護者の意見を参考にしながら協議を行うことで、改善すべき点を見直している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			HPに掲載している。 紙媒体で事業所玄関にも掲示している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2	行っていない。その旨は重要事項説明書に記載し、契約時に説明している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			年間計画を作成し、定期的に事業所内研修を実施出来ている。地区の連携協議会や研修には積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			アセスメントの作成、定期的なモニタリングを通して保護者のニーズを聞きながら、計画書の作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			全職員で協議を行ったうえで活動内容を決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			毎月協議を行っており、利用予定者の課題や年齢、季節に応じた活動を考えているため、固定化はない。 利用者、保護者のニーズに応じて、臨機応変に対応している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			利用時間や日程に応じてスケジュールを設定している。外出時のスケジュールも必ず作成。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			事業開始前のミーティングにてスケジュール、活動内容、担当者の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			事業終了時の振り返り、特記すべき点は申し送りノートに記載し、記録を残している。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			徹底している。 必要に応じてショートケース会議を行っている。 ・日々の記録を取り、支援の改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4			適宜検討しながら行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			児童発達支援管理責任者が出席。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			・学校からのプリントや時間割で把握。イレギュラー時には学校側と直接連絡を取り合っている。 ・学校への迎え時に担任と積極的に意見交換、情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		協力医と契約を交わし、対応できる体制を整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4			児童発達支援事業所に出向き引継ぎを行ったうえで、移行支援シートの作成を依頼している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3		該当児童なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4		必要に応じて研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	不定期ではあるが、公共施設の利用をすることで社会との交流促進を行っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			当番制で全員が参加できるようにしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			家族支援や、必要に応じて事業所に出向いてもらい情報を共有している。 活動の様子はLINEで発信している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2		保護者就労等の理由で直接会って実行できない家庭もあるが、電話等でお話しし対応している。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			説明を行い、同意を得た上でサインを頂いている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・対応できる体制を作り、要望があれば適宜事業所にて対応している。 ・送迎時の相談にも、送迎終了時に対応している。 ・保護者からの相談については助言を行い、職員間で情報共有を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	希望者が少なく対応できていない。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			窓口設置が契約書に記載されており、説明を行っている。 苦情処理報告書の作成。同じことが起きないように、全職員に周知徹底。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			HPやブログにて発信している。保護者にはHPの存在をお伝えしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			周知徹底している。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			ケースに応じてコミュニケーションツールの配慮を行っている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3		活動に地域清掃を取り入れ、ボランティア活動を通して地域の方との交流を図っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			マニュアル作成。定期的に訓練を行い、訓練実施時は連絡帳を通して保護者に発信している。契約時にも説明済み。 ・定期的に行っているが周知されていないとの意見を頂いたのでHPや連絡帳にて報告している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			マニュアル作成。定期的に訓練を行い、訓練実施時は連絡帳を通して保護者に発信している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			委員会を作り、定期的な研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			個々に対して身体拘束に関わる注意事項を作成。個別支援計画書には身体拘束について記載。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		・アレルギーは把握できているが、医師の指示は仰いでいない。 ・個人ファイルや保護者からの情報提供をもとに十分に気を付けて行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒヤリハットを作成している。